

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	2	開封日	平成21年4月15日
ご 意 見			
<p>相良村でしんきゅう師をされている福山洋二さんは、人吉、相良の歌をたくさん作っておられます。その中で、「愛する人吉」という曲は、とても歌いやすく親しみやすい曲です。小学校などで総合学習の一環でよく子ども達ともふれあいをもたれています。そこで、人吉駅や物産館などでイメージソング的に曲を流されたら活気づくのではと思いました。</p> <p>以前、熊工が甲子園に行ったときに応援列車に乗っていったら着いたJRで熊工の校歌が流れてうれしかった経験があります。(福山さんは、現在、球磨村や錦など、いくつかの町村の替歌も作られています。)</p>			
回 答			
<p>ご意見ありがとうございます。市の企画課です。</p> <p>相良村在住の福山洋二さんには、市内のピアノ教室の発表会など機会をとらえて、お話の「愛する人吉」を歌っていただいているというお話を聞いており、大変ありがたく思っています。</p> <p>人吉市にも市制20周年を記念して「人吉市民の歌」という市の歌が作られておりますが、残念ながら当方の努力不足もあり、愛唱されているという状況にはありません。どちらかというといふ童球溪先生の「旅愁」や西間を歌われた「故郷の廃家」の方が、ふるさと人吉の原風景に思いを寄せる作品として市民の皆様に愛されているのではないのでしょうか。</p> <p>福山さんが、音楽CDや他の媒体を制作されているかどうかは知り得ておりませんが、まずは、「愛する人吉」が地域、学校あるいは様々な機会をとらえて、子どもたちをはじめ多くの市民に親しまれ、愛され、歌い継がれていく中で、ふるさとの歌として皆様に育て上げていただく、それがこれからの市民の歌のあり方ではないかと考えております。</p> <p>市民の皆様のアイデアや小さな運動となり市全体に広がっていき、市の施策やまちの元気につながりますように、市民の皆さんの一人ひとりの活動とご支援を心からお願いいたします。</p>			